

<別冊資料・協議事項①関係その2>

教育プラン原案への指摘・確認事項

教育委員からの指摘・意見・質問に対する対応

No.	ページ	委員	項目	指摘・意見・質問内容	担当課	修正の有無	対応・回答
1		松尾委員		※総合教育会議での議論 個別最適な学びという概念は、ICTを活用しない場面でも求められるので、「ICTを活用した個別最適な学び」という趣旨の表現は改めるべきでは？	総務企画課 学校教育課	○	教育の現状と課題の「1 学力の状況」の「ICTを有効に活用した個別最適な学び」の箇所は、令和5年度学校教育基本方針を引用した箇所であり、これまでの取り組みを説明している部分なので、そのまま残す。 施策1については、「ICTを活用した」を削除する。
2		坪田委員		※総合教育会議での議論 「こども」「子ども」などの表記が混在している。	総務企画課	○	固有名詞・法令で定められている場合などを除き、「こども」に統一する。
3		市長		※総合教育会議での議論 教育プランのみ「ヤングケアラー」に関する記載がない。追加した方が良いのでは？	総務企画課 教育支援課	○	・ヤングケアラーを特別に取り上げて支援対象とはしていない。不登校支援などの範囲で、他の要因による不登校児童生徒と同様に、支援することを想定している。 ・ヤングケアラーへの支援は、児童福祉の範囲と認識している。教育の分野で行うことは、福祉関係部局への情報提供・連携。 →「学びのセーフティネット」に「ヤングケアラーに関する情報連携」を追加
4		根本委員	第1編 第2章 3 学校施設と学校運営 改善の状況	避難所となる体育館へのエアコン設置も検討したのか？	総務企画課		検討はしたが、構造上断熱性等に課題があり、改修費用が膨大になるため見送った。
5		教育長・ 松尾委員	第1編 第2章 6 リカレント教育の状況	・「リカレント教育」というタイトルになっているが、内容は生涯学習のことになっているのでは？ ・石狩市でもリカレント教育に関する取組を進めているのか？やっていないなら「生涯学習」をタイトルにした記載にするべきでは？	社会教育課	○	・「リカレント教育」を学校教育が終わり社会人となった後も、生涯にわたり学習を繰り返すことと捉えている。リカレント教育であることを明確にするため、文言を修正する。 ・石狩市でも上記の意味でリカレント教育に関する取組は行っている。
6		教育長	第1編 第2章 8 コミュニティ活動の状況	青少年育成の論点が必要では？	社会教育課	○	青少年がまちづくりの担い手となることを明確にし、「青少年の社会参画意識の醸成」のニュアンスを追加する。
7		教育長	第1編 第2章 9 芸術・文化活動の振興状況	「画面越しではなく市民が対面して本物の芸術や文化に触れ、豊かな感性や情操を育む機会が求められています」という記載が、画面越しの芸術・文化を否定しているように読めるが、否定する必要もないのでは？	社会教育課	○	画面越しも対面も、両輪で進めていく旨に修正する。
8		松尾委員	第2編 第1章 基本理念	「美しい日本語を身に付ける」のが重要なのではなく、言語が行動や思考の基盤となるため、日本語を学ぶことが重要である。 全体的に表現が情緒的なので、合わせて修正	総務企画課	○	「行動や思考の規範となる日本語を身に付けること、他人を尊重し協調性を培うこと、歴史や伝統を学びこれらを大切にすることを育むことなどは、教育が目指す普遍的な目標です」と修正。

No.	ページ	委員	項目	指摘・意見・質問内容	担当課	修正の有無	対応・回答
9		松尾委員	第2編 第1章 基本方針1 未来を切り拓く力の育成	「一人一人のニーズに応じた」というニュアンスを入れるべき。不登校支援や特別教育などではよく言及されるが、学力向上という観点からも、「個別具体的」な指導を行うべき。	次長	○	「個別最適な学び」という表現の前に、「一人一人の学習の習熟度に応じた指導を行い、」という文言を追加する。
10		教育長	第2編 第1章 基本方針1 未来を切り拓く力の育成	施策7「地域特性を活かした環境教育の推進」のニュアンスが基本方針1から読み取れないので、追加すべきでは？	総務企画課	○	施策7のタイトルを、「石狩市ならではの教育の推進」に変更し、基本方針1に「手話・脱炭素に向けた取組など、石狩市の先進的な取組や豊かな地域資産を活かした教育を推進します」という文言を追加する。
11		教育長 松尾委員	第2編 第2章 施策1 確かな学力の育成 成果指標	・※以下に記載されている「前年度母集団を上回ること」の方が重要なのではないか。 ・「CRTの全国平均との比較が前年度より良くなった学年」を成果指標に加える。目標学年数は8学年全て。	総務企画課	○	成果指標2に「CRT標準学力調査において、調査科目全体の全国平均に対する成績が前年度より良くなった学年数」を追加し、目標を7学年に設定する。 ※CRT標準学力調査は中3は行われないため、小2～中2の7学年を成果指標の対象とする
12		坪田委員	第2編 第2章 施策2 幼児教育との連携 具体的な取組	「幼小連携」という表現があるが、「幼児」と「小学生」の連携という意味で、「幼保小」という書き方でなくても良い			
13		教育長	第2編 第2章 施策3 多言語教育の充実 具体的な取組	多言語教育の中に「手話」が入っているのは違和感がある。「手話」は施策7に入れるのが妥当ではないか？	総務企画課 学校教育課	○	手話に関する具体的な取組と成果指標を、施策7に移行する。あわせて、施策7のタイトルを「石狩市ならではの教育の推進」に変更する。
14		教育長 松尾委員	第2編 第2章 施策3 多言語教育の充実 成果指標	・※以下に記載されている「前年度母集団を上回ること」の方が重要なのではないか。 ・「CRTの全国平均との比較が前年度より良くなった学年」を成果指標に加える。目標学年数は8学年全てとする。	総務企画課	○	成果指標6に「CRT標準学力調査において、英語の全国平均に対する成績が前年度より良くなった学年数」を追加し、目標を3学年に設定する。 ※英語のCRT標準学力調査は小5～中2を対象に行われるため、小6～中2の3学年を成果指標の対象とする
15		教育長	第2編 第2章 施策5 教育の情報化 具体的な取組	「情報リテラシーの習得」は削除せずに残すべきでは？現状と課題の中で言及しているのだから、取組の中にもどこかで示す必要がある。	総務企画課 学校教育課	○	施策5に「情報リテラシーの習得」を記載する。
16		松尾委員	第2編 第2章 施策10 学校・地域の連携・協働 具体的な取組	「放課後体験学習の実施」とあるが、「体験」は不必要では？	総務企画課	○	前回修正した際に削除し忘れたもの。「放課後体験学習の実施」を削除する。
16		教育長 松尾委員	第2編 第2章 施策11 学校施設・設備の整備	エアコン整備以外に何か書けるものはないか？長寿命化計画の進捗率などの記載はできないか？	総務企画課		・R7に紅南小の大規模設計の実施設計を行うが、どこまでを「大規模改修」とするか難しい。 ・放送設備の更新は計画的に行う予定だが、通常の維持・管理の範囲内であり、敢えて取り上げるのも不適當 ・長寿命化計画には、いつ何を改修するかについては言及していないので、進捗率というものが把握困難
16		松尾委員	第2編 第2章 施策12 安全・安心な学校教育環境の整備	通学路交通安全プログラムに関して、成果指標の設定は何かできないか？	総務企画課		毎年定例的に行っているもので、成果指標の設定になじみにくい(やって当然の取組)

No.	ページ	委員	項目	指摘・意見・質問内容	担当課	修正の有無	対応・回答
17		教育長	第2編 第2章 施策15 部活動の地域移行・地域連携 具体的な取組	何をもって「地域連携」としているかが不明確なため、「部活動指導員の配置による」という文言を追加してはどうか？	総務企画課 学校教育課	○	「部活動指導員の配置などによる部活動の地域移行・地域連携の推進」という文言に修正する。あわせて、成果指標を「部活動指導員を配置している部活動数」に修正する。
17		松尾委員	第2編 第2章 施策16 こどもの権利 成果指標	校則の見直しに関して、何らかの成果指標を設定できないか？校則の見直しは、まだまだ進めるべきと考える。	次長		毎年定例的に行うものではなく、適時行っている。成果指標の設定ではなく、校長会の中で呼びかけを行っていく。
18		教育長	第2編 第2章 施策17 体験活動・交流活動の充実 成果指標	「あい風寺子屋」の中に「放課後すこやかスポーツ」も含まれている？	社会教育課		入っていない。施策20の地域学校協働活動の中に入れている。
19		根本委員 鈴木委員 教育長	第2編 第2章 施策17 体験活動・交流活動の充実 成果指標	体験活動で数字を把握できる取組を追加してはどうか？リーダー養成講座に参加した児童数など。	子ども政策課	○	石狩市こども会育成連絡協議会が実施する「リーダー養成講座」について、年度によって実施回数・参加者数の変動が大きいことから、主な取組「児童館を拠点とする、こどもが主体的に取り組む体験活動の充実」に係わり成果指標32「児童館での体験活動の実施回数」を追加する。（子ども政策課提案）
20		教育長	第2編 第2章 施策20 体力・運動能力の向上 成果指標	放課後すこやかスポーツ教室の「実施回数」ではなく「参加者数」とすべき	社会教育課	○	成果指標39を「放課後すこやかスポーツ教室の参加児童数」に変更。併せて令和5年度実績を修正。
21		教育長	第2編 第2章 施策24 生涯学習の推進 具体的な取組	「レクリエーション活動の推進」とは何を指している？	社会教育課	○	不明確なので削除する。
22		松尾委員	第2編 第2章 施策25 芸術文化活動の推進 成果指標	「市教委が実施する」という限定は必要ないのではないか？市民や団体が行うコンサートこそ、芸術文化活動の振興には大事なのでは？そのような視点を反映できないか？	総務企画課 社会教育課	○	「市教委が主催・共催・後援するコンサート」という記述に変更する。併せて、令和5年度の実績を修正する。
23		松尾委員	第2編 第2章 施策26 図書館サービスの充実 成果指標	「地域資料収集数」を成果指標に加えてはどうか？	市民図書館	○	成果指標に加える。
24		松尾委員	第2編 第2章 施策27 ふるさとを学ぶ 機会の充実 成果指標	ふるさと学習について、共催・後援の件数は把握できる？	文化財課		ほとんど例がないと認識している。郷土研究会や陣屋研究会なども共催・後援はしていない。（陣屋研究会は「協力」という形で行っている）
25		鈴木委員		今年度暑さ対策でコンビニ等に避難できるような仕組みを作ったと認識しているが、それはプラン上どこに反映しているのか？	総務企画課		暑さ対策については、市教委だけでなく市長部局を含めた市全体で取り組むものと位置づけ、プランの中では言及していない。